

スクリーニング検査の申し込み方法

当財団ではウェブサイトからお申し込みを承っております。

1

「SAS対策支援センターで検索し、サイトにアクセス。「検査のお申し込み」をクリック



2

「検査お申し込みページ」から、「法人」もしくは「個人」を選択



3

必要事項を記入してお申し込みを行います。後日担当者から連絡させていただきます。



加害者がSASと診断された事故事例

関越道藤岡ジャンクションで ツアーバスが防音壁に衝突（上図）

2012年4月29日乗客約40名を乗せたバスが群馬県藤岡市の関越道で防音壁に衝突。乗客7名が死亡する大事故になった（日本の高速道路上の事故で、最多の死亡者）。鑑定留置の結果、運転手はSASと診断された。

コンプライアンスの遵守は 企業の社会的責任です

2003年2月、JR山陽新幹線岡山駅での運転士による居眠り運転がきっかけとなって、SASが目されるようになりました。それまで居眠り運転は、事故を起こしたドライバーの責任とされてきましたが、現在では企業・運輸交通業界全体の責任とみられるようになってきました。このことからSAS対策は生産性の向上やコンプライアンスの遵守だけでなく、より高次の社会貢献や配慮を果たしていくために重要だと考えられています。

法人概要

法人名 一般財団法人運輸・交通SAS対策支援センター

所在地 〒160-0004
東京都新宿区四谷三丁目2番5号 全日本トラック総合会館2階

代表 理事長 別所 恭一

TEL 03-3359-9010

FAX 03-3356-5454



SASスクリーニング検査の
お申し込み・お問い合わせはこちらから

☎ 03-3359-9010 土日祝日をのぞく
9:00~17:00



<https://www.sas-support.or.jp/>

SAS 対策支援センター

検索



睡眠時無呼吸症候群による 交通事故をゼロに

スクリーニング検査を通して、安全で健康な日々を

スマホからでも申し込みが可能です

QRコードをスマートフォンから読み取ると
申し込みページへ直接アクセスいただけます。



個人専用お申し込みページ

法人専用お申し込みページ



睡眠時無呼吸症候群の簡易検査をご自宅で

一般財団法人運輸・交通SAS対策支援センター

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは？

睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome)は、その名の通り、睡眠中に呼吸が止まってしまう病気です。通称「SAS」とも言われます。医学的には、10秒以上気道の空気の流れが止まった状態を無呼吸とし、一晚(7時間の睡眠中)に無呼吸状態が30回以上、または1時間あたり5回以上あれば、睡眠時無呼吸であると言えます。

まずは自宅で手軽にスクリーニング検査



検査機器(パルスオキシメータ)を指に装着して寝ることで、睡眠時における動脈酸素飽和度(SpO2)と脈拍数を測定し、睡眠時無呼吸症候群の可能性を判定する簡易的な検査です。

検査機関や病院に向かう必要はなく、ご自宅あるいは仮眠施設で測定が簡単にできます。検査にはリラックスした状態での連続した睡眠が4時間以上記録されることが必要です。検査後、受診者様のSAS傾向をA~Fの6段階で判定し、結果票を封書にてお届けします。

！ここが便利！ 1人1台ずつ検査キットをお貸し出しますので、管理者の作業を軽減し、計画的な検査実施が可能です。

検査費用

個人のお客様の場合

1名あたり
5,240円(税込)
+
機器送料・代引き手数料

法人のお客様の場合

1名あたり
5,240円(税込・送料込み)
助成金最大 5,000円
トラック協会やバス協会
会員の企業であれば、
助成金が受けられます。

スクリーニング検査の流れ

STEP 1 スクリーニング検査機器等の受取



申込完了後、SAS対策支援センターまで「スクリーニング検査申込書兼委任状」必要事項を記入のうえ、ご郵送ください。その後、当センターより検査機器と問診票等を送付致します。

STEP 2 スクリーニング検査実施 (問診票へ事前に記入)



自宅等で検査機器を装着して就寝・計測。最低4時間の計測が必要です。睡眠中に検査機器が手から外れてしまうと正常に計測されません。その日の計測が不十分だと心配される場合は翌日再度検査を行うことが可能です。

STEP 4 結果表の送付



検査機器のご返却後、結果データを専門医が診断して、評価、判定いたします。検査結果は、申込者毎に封書にて、企業担当者様宛に一括送付いたします。

STEP 3 スクリーニング検査機器等の返送



検査後問診票と合わせて検査機器をSAS対策支援センターへ返送してください(返送費用は申込者様のご負担となります)。機器の到着後4日以内に返送することができない場合は、遅滞なくその旨をご連絡ください。検査機器を破損・紛失した場合は、賠償いただくことがあります。

SAS傾向6段階評価について

低 SAS傾向 高 再判定	A	身体に異常のないレベルです。 3~5年を目安に再受診することをおすすめします。
	B	
	C	軽度の無呼吸・低呼吸があります。 健康管理のため毎年の検査をおすすめします。
	D	SASの疑いがあります。 検査結果(封筒一式)を医療機関に提出し、精密検査・治療をお受けください。検査結果には専門医紹介状を同封しております。
	E	重度の睡眠障害の疑いがあります。 日常生活に大きな支障をきたす危険もあり、速やかに精密検査・治療をお受けください。検査結果には専門医の紹介状を同封しております。
	F	検査結果に不備があるため再検査(¥1,050)をおすすめします。

もしも結果がD・E判定だったら・・・

検査結果に加えて判定医からの紹介状を同封いたします。治療にお役立てください。

同封の紹介状を持って
病院・クリニックにて精密検査を受診

今後、治療が必要かどうかを医師に確認

(企業にお勤めの場合)
結果を管理部門に報告